

## 基準8 専攻科課程の教育活動の状況

**観点8-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。**

カリキュラム・ポリシー(資料8-1-①-1)に基づき、専攻科課程の教育課程(資料8-1-①-2)において、一般教養科目、専門共通科目、及び複数の工学分野から成る専門展開科目を配置している。それらの科目を専門細目分野別系統図(資料8-1-①-3~7)で図示されたとおり系統立てて配置している。カリキュラムにより、基礎知識・スキルの修得から創造力・問題解決能力の養成まで一貫した構想の下に教育を行っている。なお、グループによる実験・実習科目の例は「創発ゼミナール」、コミュニケーションに関する科目の例は「グローバルスタディーズ」や「エンジニアリングプレゼンテーションⅠ・Ⅱ」、総合的な学習をする科目の例は「工学基礎研究」と「専攻科特別研究」である。以上のことから、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されている。

**観点8-1-② 準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。**

専攻科課程の2つの専攻に対し、準学士課程の学科ごとに専門細目分野別系統図(資料8-1-①-3~7)を毎年作成して点検している。専門細目分野別系統図より、人文社会系・保健体育・芸術系、外国語・異文化理解系、各専門分野、実験・実習系、演習系、工学基礎・周辺系、実務系のいずれにおいても、準学士課程の基礎科目から専攻科課程の応用科目まで系統立てて科目が配置されている。また、それらの専門細目分野には全体のバランスを考慮して科目が配置されている。以上のことから、準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっている。

**観点8-1-③ 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。**

教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態を採用している。2年次の共通科目を除いて、実験、実習部分は授業時間全体の20%以上を占めている(資料8-1-③-1)。

学習指導上の工夫として、講義内容の理解を深めさせるため、実験、プログラミング演習、シミュレーションツールを使用した実習、少人数のPBLグループワーク、個別研究、および、それらの成果発表、フィールドワークなどが、講義科目の中にも取り入れられており、適切なものとなっている。

**観点8-1-④ 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。**

カリキュラム・ポリシー(資料8-1-①-1)に基づいた専攻科課程の教育課程(資料8-1-①-2)で観点8-1-③で示した適切な指導方法で教養教育を行っている。研究指導を行う科目「工学基礎研究」と「専攻科特別研究」においては、専攻科に関する特別の事項(資料8-1-④-1)において取り決めた方法で統一した基準のもと適切な指導を行っている。

「工学基礎研究」及び「専攻科特別研究」における研究指導の学習時間は記録し、また、専攻科生の学会発表等の状況も調査しその成果を確認している。教養教育を含め、学習到達度は、観点 8-1-⑤で示す認定会議において教員全員で審議を行い確認している。

**観点 8-1-⑤ 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。**

教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー(資料 8-1-①-1))に基づき、「専攻科履修規程(資料 8-1-⑤-1)」第 4 条に成績評価の基準を、第 5 条に単位の認定について規定している。その基準を元に、各授業科目の単位認定を認定会議において教員全員で審議を行ったうえで校長が行っている。また、各科目における成績評価の厳格性確保のため、各教員による評価内訳表と定期試験の答案、演習課題・レポート等の成績根拠資料の保管を義務づけており、いずれも教員相互に照合・点検することが可能としており、学校として確認している。

学修単位科目(45 時間の学修を 1 単位と授業科目)については、シラバスに授業以外の学習時間について記載し、授業外学習の必要性の周知、事前学習の徹底、事後展開学習の徹底、および授業時間外学習による学習成果の確認を通じて授業外学習の把握を行っている。また学期末には全科目について授業アンケート・授業点検を行い、確認している。

成績評価や単位認定に関する基準を規定した「専攻科履修規程(資料 8-1-⑤-1)」は、学校 Web サイトの「学生生活のてびき」に掲載しており、学生に周知している。また、評価基準、評価項目やその内訳は各科目の Web シラバスに記載しており、閲覧できる。

なお、成績評価や単位認定に関する基準に関する学生の認知状況については、学期末に行われる意識調査のアンケート結果により、学校が把握している。資料 8-1-⑤-2 に示す令和 2 年のアンケート結果において、専攻科 1 年は評価の平均値が 3.44 点、専攻科 2 年は評価の平均値が 4.33 点であった(3.0 点が「説明を受けたことがある」である)。

また、追試や再試については、「専攻科履修規程(資料 8-1-⑤-1)」の第 3 条に規定している。定期試験の答案や演習課題、レポート課題等については原則として学生に返却し、学生が評価を確認したうえで、評価理由について担当教員に説明を求めることができるようにしている。さらに、教員は学期終了後の授業点検書において、返却状況を申告し、アクティブラーニングセンターが資料を点検している。

**観点 8-1-⑥ 修了認定基準が、修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、修了認定が適切に実施されているか。**

資料 8-1-⑥-1 に示す「学則」の第 50 条に、専攻科の修業年限は 2 年とすると規定している。専攻科修了認定基準はディプロマ・ポリシー(資料 8-1-①-1)に従って策定され、「学則」の第 53 条で修了を規定しており、その詳細は教育課程表として示され、過去の分も含めて全て本校 Web サイトにも公開している。それに加えて年度当初に「専攻科履修の手引き」という冊子に掲載して学生に毎年配布することにより、学生に周知徹底を図っている。修了の認定に際しては、学校としての一貫性保持のため、認定会議において教員全員で審議を行ったうえで校長が決定している。また、各科目における成績評価の厳格性確保のため、評価内訳表の提出と定期試験の答案、演習課題・レポート等の根拠資料の

保管を義務づけている。修了認定基準の学生認知状況はアクティブラーニングセンターにおいて「教育目的と学習・教育到達目標に関する調査」のアンケートを実施し、その結果を集計（資料 8-1-⑥-2）・分析して学校として把握している。

**観点 8-2-① 専攻科課程としての入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切に運用されており、実際の学生の受入が適切に実施されているか。**

入学者の受入れは「専攻科学生募集要項」に基づいて行われ、この要項は本校ウェブサイトに掲載されている。選抜においては「令和 4 年度専攻科入学者選考要領（非公開）」に従ってアドミッション・ポリシー（資料 8-1-①-1）に沿った選抜が行われている。推薦選抜では「令和 4 年度専攻科推薦選抜面接要領（非公開）」に従って面接（100 点）を行い、それに推薦書、調査書（200 点）の内容を総合して判定している。学力選抜では学力試験（150 点）、TOEIC スコア（50 点）、調査書（100 点）、面接（50 点）で総合的に判定している。なお、学力試験では数学（50 点）と専門科目（100 点）で構成されている。これにより学生受け入れがアドミッション・ポリシーに沿って適切に実施されている。

**観点 8-2-② 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を受け入れているかどうかを検証するための取り組みが行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。**

アドミッション・ポリシーに沿った学生を受け入れているかどうかを検証するための体制として、明石工業高等専門学校入学者選抜委員会規則において定められており、検証結果を役立てる体制はアクティブラーニングセンター規則で定めて、整備されている（資料 8-2-②-1）。また、入学者がアドミッションポリシーに沿っているかどうかは専攻科入学選抜委員会で検証を行っており、その結果は議事録（非公開）に記載されている。

検証結果は入学後の学力の状況についてモニターした結果と照らし合わせ、改善について常に検討して役立てている。実際の改善は専攻科入学者選抜委員会で行っている。実績としては TOEIC スコアを平成 29 年度には 400 点から 450 点に、平成 30 年度にはさらに 500 点に変更した。現在はそれを維持している。

**観点 8-2-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、または大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。**

学則第 47 条に専攻ごとの学生定員を定めており、機械・電子システム工学専攻、建築・都市システム工学専攻、いずれも 8 名となっている。過去 5 年間の実入学者数は資料 8-2-③-1 のとおりである。平成 29 年度まで入学者は定員の 2 倍を超えていたが、平成 30 年度入試からは、学力入試において合格者決定のための基準点（合格基準）を 210 点から 240 点（350 点満点）に変更した。これにより、平成 29 年度 32 名であった入学者数は平成 30 年度以降令和 3 年度まで 19 名、21 名、17 名、18 名（定員 16 名）となり、大幅な定員超過については改善された。

**観点 8-3-① 成績評価・修了認定の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。**

成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を、資料8-3-①-1のとおり整備しており、教員全員が構成員となる教員会で審議している（資料8-3-①-2「令和2年度第11回教員会議事録」、資料8-3-①-3「成績一覧表の様式」）。

また、資料8-3-①-4「修業年限修了率」および資料8-3-①-5「単位取得率」に示すように、学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価が適正に行われ、成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価する体制が整備されている。修業年限修了率や単位取得率も良好であり、学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力を適正に把握・評価している。

**観点8-3-② 達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。**

学生・修了生・進路先関係者等からの意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を資料8-3-②-1のとおり整備している。令和3年12月に行った教育目的、ディプロマ・ポリシーおよび学習・教育到達目標に関するアンケートでは修了生のみではなく、就職先企業および進学先大学院の担当者にも実施し把握・評価している。

今回のアンケートでは企業からの回答は無く、進学先大学院からのみの回答となった。意見聴取の結果は、資料8-3-②-2に示すとおり、いずれも標準以上と高い結果になった。その中で修了生自身の評価は、進学先大学院の高評価にくらべ相対的にやや低い結果となったが、全体的には専攻科修了生が修了時に身に付けた学力、資質・能力はいずれも評価されており、学習・教育・研究の成果が認められる。

**観点8-3-③ 就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。**

修了者の進路実績は資料8-3-③-1に示すとおりで、修了生は各専門分野の優良企業に就職し、東大・京大・大阪等の大学院に多く進学しており、養成しようとする人材像にかなった成果が得られている。

**観点8-3-④ 修了生の学位得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。**

過去5年間の修了生の学位取得の状況は、資料8-3-④-1「学位取得率」に示すとおりで、平成28年度は学位取得率が97%であったが、平成29年度以降は100%の学生が学位を習得しており、十分に学習・教育・研究の成果が認められるといえる。

#### 【優れた点及び改善を要する点】

##### （優れた点）

専攻科課程のカリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用し、適切な研究指導等が行っている。成績評価・単位認定及び修了認定を適切に行い、学則で定められた修了認定基準を厳格に満たして修了している。また、常に専

攻科の教育状態を確認し、時代により移り変わる学生の要望・社会の要請に応えるべく改善を行っている。その結果、修了生の学力、資質・能力は、就職・進学先等の進路先関係者等に高く評価されており、学習・教育・研究の成果が認められる。また、前回改善を要する点としてあげられた定員を上回る入学者数は、選抜基準を修正し大学改革・学位授与機構が認める範囲内へ向かって改善している。

**(改善を要する点)**

施設・設備の老朽化が進む中、支障をきたす箇所ごとに逐次更新はおこなわれてきたが、時代の求める教育改革をすすめるには、抜本的な教育・研究環境の改善が望まれる。

資料 8 - 1 - ① - 1

「専攻科 三つのポリシー」

### ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシーはどのような能力を身に付けた者に修了を認定するのかを定める方針です。

**【機械・電子システム工学専攻】**

機械・電子システム工学専攻は、本校が開ける教育目標のもと、機械工学・電子工学分野のうち本科で修得した自らの専門知識を中心とした深い知識と多くの経験に基づく技術、その他幅広い知識と技術を活用し、多面的に問題を解決できる能力を備えた人材を育成します。そのために以下に示す能力を身に付け、学期に定める基準を満たした学生に修了を認定します。

1. 分野横断的能力  
協働の中で個人の能力を発揮し、継続的に学習し、技術者としての倫理と責任を持って主体的・創造的に行動できる。また、関連する他の技術分野の知識と能力を積極的に吸収し、自然環境との調和を図りながら持続可能な社会を有機的にデザインすることができる。
2. 基礎的能力  
得意とする専門分野を持つことに加え、専門分野以外の基礎知識を修得することで、工学的な様々な問題に対して、専門的スキルや汎用的スキルを用いて自ら目標を設定し、それらを解決することができる。関連する技術が社会や自然環境に及びその影響を理解できる。
3. 専門的能力  
本科で修得した専門分野の知識の上に、機械・設計関連、システム制御関連、電子・物性関連および情報・通信関連分野の知識を広く学び、これらを統合して機械・電子システムの設計ならびに開発研究等を行うことができる。また、国際的に通用するコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を発揮し、的確に情報を発信できる。

**【建築・都市システム工学専攻】**

建築・都市システム工学専攻は、本校が開ける教育目標のもと、建築学・都市システム工学分野のうち本科で修得した自らの専門知識を中心とした深い知識と多くの経験に基づく技術、その他幅広い知識と技術を活用し多面的に問題を解決できる能力を備えた人材を育成します。そのために以下に示す能力を身に付け、学期に定める基準を満たした学生に修了を認定します。

1. 分野横断的能力  
協働の中で個人の能力を発揮し、継続的に学習し、技術者としての倫理と責任を持って主体的・創造的に行動できる。また、関連する他の技術分野の知識と能力を積極的に吸収し、自然環境との調和を図りながら持続可能な社会を有機的にデザインすることができる。
2. 基礎的能力  
本科で修得した自然科学および自らの専門分野の知識を高度化すると共に、専門分野以外の基礎知識を修得することで、工学的な様々な問題に対して、専門的スキルや汎用的スキルを用いて自ら目標を設定し、それらを解決することができる。
3. 専門的能力  
本科で修得した専門とする分野の知識の上に、建築関連（計画・歴史・構造・材料・環境・設備・施工・法規・デザイン、設計製図）や都市システム関連（測量、建設材料、構造、地盤、水理、環境、計画）の知識を広く学び、これらを有機的に統合した建築・都市システムの設計ならびに開発研究等を行うことができる。また、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を発揮し、情報を発信できる。

### カリキュラム・ポリシー

カリキュラム・ポリシーは、どのような教育課程を構成し、どのような教育内容・方法を実施し、学習成果をどのように評価するのかを定める方針です。

**【機械・電子システム工学専攻】**

以下に示す分野横断的能力、基礎的能力、専門的能力を修得する各専攻独自の教育課程を独立行政法人国立高等専門学校機構が定めたモデルコアカリキュラムに基づいて組み立てています。学生が学習方法を理解しやすいように、学習内容と成績評価方法を記したシラバスを公開し、また、各科目の関連や学習進捗を理解しやすいように教育課程表を公開しています。各科目の成績評価は、100点法により採点し、60点以上の成績をもって所定の単位を認定します。

1. 分野横断的能力  
1年次の開発ゼミナールでは、グループ作業を通じて協働と作業分担、管理的役割を体験し、問題解決能力を実践的に養い、自らの成果をまとめ口頭発表する機会を設けています。また、専攻科特別講義では専門分野の異なる専攻の教員による多様な話題について、分野横断的に技術開発動向について説明することで知見を広げ、技術分野を超えた高度な考え方や柔軟な開発対応力を養成します。
2. 基礎的能力  
論文発表等の技術的な表現能力を高めるために、プレゼンテーションの基礎を学ぶための科目を開講しています。また、国際標準の教養と感性、異文化対応能力を身に付けるため、語学系科目や、様々な民族の文化を相対的な視点から学ぶための科目を開講しています。
3. 専門的能力  
機械・電子システム工学専攻の専門知識を身に付けるため、機械・設計関連、システム制御関連、電子・物性関連および情報・通信関連分野の発展的な専門応用科目を開講しています。さらに、民間企業や官公庁などにおいて技術体験を通じて実践的技術感覚を会得するために、専攻科インターンシップを行います。1年次には機械・電子システム工学分野の研究を担当教員の下で行う工学基礎研究に取り組み、分析レベルの専門能力を養います。2年次には工学基礎研究を基礎として、修士授与に相応しいテーマで専攻科特別研究に取り組みます。

**【建築・都市システム工学専攻】**

以下に示す分野横断的能力、基礎的能力、専門的能力を修得する各専攻独自の教育課程を独立行政法人国立高等専門学校機構が定めたモデルコアカリキュラムに基づいて組み立てています。学生が学習方法を理解しやすいように、学習内容と成績評価方法を記したシラバスを公開し、また、各科目の関連や学習進捗を理解しやすいように教育課程表を公開しています。各科目の成績評価は、100点法により採点し、60点以上の成績をもって所定の単位を認定します。

1. 分野横断的能力  
1年次の開発ゼミナールでは、グループ作業を通じて協働と作業分担、管理的役割を体験し、問題解決能力を実践的に養い、自らの成果をまとめ口頭発表する機会を設けています。また、専攻科特別講義では専門分野の異なる専攻の教員による多様な話題について、分野横断的に技術開発動向について説明することで知見を広げ、技術分野を超えた高度な考え方や柔軟な開発対応力を養成します。
2. 基礎的能力  
論文発表等の技術的な表現能力を高めるために、プレゼンテーションの基礎を学ぶための科目を開講しています。また、国際標準の教養と感性、異文化対応能力を身に付けるため、語学系科目や、様々な民族の文化を相対的な視点から学ぶための科目を開講しています。
3. 専門的能力  
建築・都市システム工学専攻の専門知識を身に付けるため、構造系、水理系、地盤系、計画系などの発展的な専門応用科目を開講しています。さらに、民間企業や官公庁などにおいて技術体験を通じて実践的技術感覚を会得するために、専攻科インターンシップを行います。1年次には建築・都市システム工学分野の研究を担当教員の下で行う工学基礎研究に取り組み、分析レベルの専門能力を養います。2年次には工学基礎研究を基礎として、修士授与に相応しいテーマで専攻科特別研究に取り組みます。

### アドミッション・ポリシー

ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、どのように入学者を受け入れるかを定める方針です。自由な校風のなかで夢を育み、将来を自ら切り拓いていこうとする意志を持った次のような学生の入学を期待しています。

1. 技術者として活躍したいと強く希望を持っている人
2. 総合的な基礎学力および専門分野の基礎能力を身に付けている人
3. 自己の専門分野以外も学習する意欲があり、自然や社会との共生に関心のある人

選抜方針は以下のとおりです。

- ・推薦選抜：学校長推薦  
高等専門学校を卒業（見込み含む）した者で、学業・人物とも優秀であることにより出身の高等専門学校長の推薦を受け、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、当該専攻への関心が明白・適切であり、自己の専門分野以外も学習する意欲を持ち、自然や社会との共生に関心のある人を選抜します。
- ・推薦選抜：社会人特別推薦  
高等専門学校を卒業し、企業等に在籍する者で、勤務成績・人物とも優秀であることにより所属企業等の長の推薦を受け、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、当該専攻への関心が明白・適切であり、自己の専門分野以外も学習する意欲を持ち、自然や社会との共生に関心のある人を選抜します。
- ・学力選抜  
高等専門学校等を卒業（見込み含む）した者で、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、当該専攻への関心が明白・適切であり、特に数学、英語、当該専攻の専門科目が得意である人を選抜します。

資料 8-1-①-2

「教育課程表」

機械・電子システム工学専攻

建築・都市システム工学専攻

【令和3年度入学生に係る教育課程】

【令和3年度入学生に係る教育課程】

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1学年		2学年			
			前期	後期	前期	後期		
一般教養科目	人文社会	必修	技術者倫理	2	2			2単位以上修得
	選択	経営科学	2	2				
	選択	グローバルスタディーズ	2	2				
	選択	国語表現法	2		2			
		選択科目開設単位数計	6	4	2			
	自然	選択	地球物理	2	2			4単位以上修得
	選択	環境科学	2		2			
	選択	ナノテクノロジー入門	2	2				
		選択科目開設単位数計	6	2	2	2		
	外国語	選択	カルチャーコミュニケーション	2	2			2単位以上修得
選択	異文化理解	2		1	1			
選択	オラル・イングリッシュ	2	1	1				
選択	専攻科海外研修	2	1	1				
	選択科目開設単位数計	8	4	2	1	1		
	一般教養科目開設単位数合計	22	10	6	5	1		
	一般教養科目修得単位数合計	10単位以上を修得						
専門共通科目	必修	創発セミナー	2	2				
	必修	専攻科特別講義	2	2				
	必修	エンジニアリングプレゼンテーションⅠ	1	1				
	必修	エンジニアリングプレゼンテーションⅡ	1		1			
	必修	工業材料	2	2				
		必修科目小計	8	3	4	1		
	選択	情報応用	2	2			2単位以上修得	
	選択	解析力学	2	2				
	選択	インクルーシブデザイン概論	2	2				
		選択科目開設単位数計	6	6				
専門展開科目	必修	専攻科インターンシップ	2	1	1			
	必修	工学基礎研究	4	2	2			
	必修	専攻科特別研究	8			4	4	
		必修科目小計	14	3	3	4	4	
	選択A	システム制御工学	2	2			選択Aより2単位以上を含み14単位以上修得	
	選択A	応用計測工学	2	2				
	選択A	メカトロシステム	2		2			
	選択B	不規則信号解析	2	2				
	選択B	電磁気学特論	2	2				
	選択B	計算力学	2		2			
選択B	材料力学特論	2	2					
選択B	生産システム	2	2					
選択B	エネルギー工学Ⅰ	2	2					
選択B	エネルギー工学Ⅱ	2		2				
選択B	材料強度学	2		2				
選択B	光デバイス	2		2				
選択B	情報通信システム	2	2					
選択B	アルゴリズム理論	2		2				
選択B	トライボロジー	2	2					
選択B	電気回路特論	2	2					
選択B	電子回路特論	2		2				
選択B	情報数理工学	2		2				
選択B	デジタル回路設計	2		2				
選択B	伝熱工学特論	2	2					
選択B	最適化デザイン	2		2				
選択B	マイクロマシン	2		2				
	選択科目開設単位数計	44	8	14	14	8		
	専門科目開設単位数合計	72	20	21	18	13		
	専門科目修得単位数合計	38単位以上を修得						
	一般教養・専門科目開設単位数合計	94	30	27	23	14		
	一般教養・専門科目修得単位数合計	62単位以上を修得						

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1学年		2学年			
			前期	後期	前期	後期		
一般教養科目	人文社会	必修	技術者倫理	2	2			2単位以上修得
	選択	経営科学	2	2				
	選択	グローバルスタディーズ	2	2				
	選択	国語表現法	2		2			
		選択科目開設単位数計	6	4	2			
	自然	選択	地球物理	2	2			4単位以上修得
	選択	環境科学	2		2			
	選択	ナノテクノロジー入門	2	2				
		選択科目開設単位数計	6	2	2	2		
	外国語	選択	カルチャーコミュニケーション	2	2			2単位以上修得
選択	異文化理解	2		1	1			
選択	オラル・イングリッシュ	2	1	1				
選択	専攻科海外研修	2	1	1				
	選択科目開設単位数計	8	4	2	1	1		
	一般教養科目開設単位数合計	22	10	6	5	1		
	一般教養科目修得単位数合計	10単位以上を修得						
専門共通科目	必修	創発セミナー	2	2				
	必修	専攻科特別講義	2	2				
	必修	エンジニアリングプレゼンテーションⅠ	1	1				
	必修	エンジニアリングプレゼンテーションⅡ	1		1			
	必修	工業材料	2	2				
		必修科目小計	8	3	4	1		
	選択	情報応用	2	2			2単位以上修得	
	選択	解析力学	2	2				
	選択	インクルーシブデザイン概論	2	2				
		選択科目開設単位数計	6	6				
専門展開科目	必修	専攻科インターンシップ	2	1	1			
	必修	工学基礎研究	4	2	2			
	必修	専攻科特別研究	8			4	4	
		必修科目小計	14	3	3	4	4	
	選択A	構造力学特論	2	2			選択Aより2単位以上を含み14単位以上修得	
	選択A	構造システムⅠ	2		2			
	選択A	建設マネージメント	2	2				
	選択B	地盤工学特論	2	2				
	選択B	交通計画	2	2				
	選択B	構造システムⅡ	2		2			
選択B	水工システムⅠ	2		2				
選択B	水工システムⅡ	2		2				
選択B	地盤システム	2		2				
選択B	計画システム	2		2				
選択B	防災システムⅠ	2		2				
選択B	防災システムⅡ	2		2				
選択B	都市景観計画	2	2					
選択B	住空間計画	2		2				
選択B	日本の都市形成史	2		2				
選択B	世界の都市形成史	2	2					
選択B	建築構造設計	2		2				
選択B	地域計画演習Ⅰ	2	2					
選択B	地域計画演習Ⅱ	2		2				
選択B	応用建築構造	2	2					
選択B	人間・環境構成論	2		2				
	選択科目開設単位数計	42	4	14	16	8		
	専門科目開設単位数合計	70	16	21	20	13		
	専門科目修得単位数合計	38単位以上を修得						
	一般教養・専門科目開設単位数合計	92	26	27	25	14		
	一般教養・専門科目修得単位数合計	62単位以上を修得						

出典「明石工業高等専門学校学則 別表第4」

資料 8-1-①-3

「専門細目分野別系統図（機械工学科）」

	修士課程												専攻科課程			
	1		2		3		4		5		3		2			
	F	S	F	S	F	S	F	S	F	S	F	S	F	S		
人文教育、基礎系	英語Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		英語総合		英語総合Ⅱ		英語総合Ⅲ			
外国語	英語ⅠA		ⅡA		ⅢA		ⅣA		Ⅴ		グローバル文化学コース		専攻科英語			
	英語ⅠB		ⅡB		ⅢB		ⅣB		TOEICⅠ-Ⅱ		専攻科英語Ⅱ		専攻科英語Ⅲ			
基礎科学系	数学ⅠA		ⅡA		ⅢA		ⅣA		Ⅴ		数学特論		数学特論Ⅱ			
	数学ⅠB		ⅡB		ⅢB		ⅣB		Ⅴ		数学特論Ⅲ		数学特論Ⅳ			
材料系	サイエンスⅠ		ⅡA		ⅢA		ⅣA		Ⅴ		サイエンス特論		サイエンス特論Ⅱ			
	サイエンスⅡ		ⅢA		ⅣA		Ⅴ		サイエンス特論Ⅲ		サイエンス特論Ⅳ		サイエンス特論Ⅴ			
生産系	材料学Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		材料学特論		材料学特論Ⅱ			
	材料力学Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		材料力学特論		材料力学特論Ⅱ			
設計工学系	機械加工学Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		工業材料		材料工学特論			
	材料学Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		工業材料Ⅱ		材料工学特論Ⅱ			
流体系	流体力学Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		流体工学特論		流体工学特論Ⅱ			
	流体力学Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		Ⅵ		流体工学特論Ⅲ		流体工学特論Ⅳ			
熱工学系	熱力学Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		熱力学特論		熱力学特論Ⅱ			
	熱力学Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		Ⅵ		熱力学特論Ⅲ		熱力学特論Ⅳ			
機・制力学系	工業力学Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		工業力学特論		工業力学特論Ⅱ			
	工業力学Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		Ⅵ		工業力学特論Ⅲ		工業力学特論Ⅳ			
知・物・システム系	ロボット工学Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		ロボット工学特論		ロボット工学特論Ⅱ			
	ロボット工学Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		Ⅵ		ロボット工学特論Ⅲ		ロボット工学特論Ⅳ			
実習系	実習Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		実習特論		実習特論Ⅱ			
	実習Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		Ⅵ		実習特論Ⅲ		実習特論Ⅳ			
実習系	実習Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		実習特論		実習特論Ⅱ			
	実習Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		Ⅵ		実習特論Ⅲ		実習特論Ⅳ			
工学基礎技術系	プログラミング基礎Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		プログラミング特論		プログラミング特論Ⅱ			
	プログラミング基礎Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		Ⅵ		プログラミング特論Ⅲ		プログラミング特論Ⅳ			
実務系	実務Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		実務特論		実務特論Ⅱ			
	実務Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		Ⅵ		実務特論Ⅲ		実務特論Ⅳ			

一般科目 必修
一般科目 選択  
専門科目 必修
専門科目 選択

資料 8-1-①-4

「専門細目分野別系統図（電気情報工学科電気電子工学コース）」

	修士課程												専攻科課程							
	1			2			3			4			5			1		2		
	F	S	S	F	S	S	F	S	S	F	S	S	F	S	S	F	S	F	S	
人文社会系・保健体育・芸術系	英語 I 歴史		英語 II 歴史			英語 III 政治経済			英語 IV 政治経済			英語 V 政治経済			経済学		技術者倫理		英語表現法	
外国語・異文化理解	英語 I A 英語 I B		英語 II A 英語 II B			英語 III 英語 III B			英語 IV 英語 IV B			英語 V TOEIC L・R・W			グローバルスタディーズ		オーラルイングリッシュ		異文化理解	
	グローバルスタディーズ入門						海外研修 I			海外研修 II			海外研修 III			専攻科海外研修				
自然科学系	数学 I A 数学 I B		数学 II A 数学 II B			数学 III A 数学 III B			応用数学 I 応用数学 II			線形代数 微分・積分			解析力学		地質物理学			
電気電子工学基礎	サイエンス I		サイエンス II A サイエンス II B			サイエンス III A サイエンス III B			応用物理学 I 応用物理学 II			科学技術の基礎 生物物理学			環境科学		ナノマテリアルデザイン入門		地球物理学	
	電気回路 I		電気回路 II			電気回路 III			電気回路 IV			電気電子情報 I・II			システム制御工学		メカトロニクス			
電気工学									制御工学 I			制御工学 II			システム制御工学		メカトロニクス			
電子工学									電子回路 I 電子回路 II			パワーエレクトロニクス エレクトロニクス			システム制御工学		メカトロニクス			
情報通信工学	データサイエンス入門		データサイエンス演習			データサイエンス II			データサイエンス III			データサイエンス IV			データサイエンス V		データサイエンス VI		データサイエンス VII	
実験・実習系	電気情報工学実験基礎		電気情報工学実験 I			電気情報工学実験 II			電気情報工学実験 III			電気情報工学実験 IV			電気情報工学実験 V		電気情報工学実験 VI		電気情報工学実験 VII	
	アナログ回路実習		デジタル回路実習			無線通信実習			画像処理実習			制御工学実習			システム制御工学実習		メカトロニクス実習		電気電子工学実習	
演習系	アカデミック・リサーチ		アカデミック・リサーチ			アカデミック・リサーチ			アカデミック・リサーチ			アカデミック・リサーチ			アカデミック・リサーチ		アカデミック・リサーチ		アカデミック・リサーチ	
工学基礎・周辺技術系	コンピュータリテラシー		コンピュータリテラシー			コンピュータリテラシー			コンピュータリテラシー			コンピュータリテラシー			コンピュータリテラシー		コンピュータリテラシー		コンピュータリテラシー	
実践系	電気情報工学実習		電気情報工学実習			電気情報工学実習			電気情報工学実習			電気情報工学実習			電気情報工学実習		電気情報工学実習		電気情報工学実習	

一級科目 必修  
二級科目 選択  
三級科目 必修  
四級科目 選択

資料 8-1-①-5

「専門細目分野別系統図（電気情報工学科情報工学コース）」

	修士課程												専攻科課程							
	1			2			3			4			5			1		2		
	F	S	S	F	S	S	F	S	S	F	S	S	F	S	S	F	S	F	S	
人文社会系・保健体育・芸術系	英語 I 歴史		英語 II 歴史			英語 III 政治経済			英語 IV 政治経済			英語 V 政治経済			経済学		技術者倫理		英語表現法	
外国語・異文化理解	英語 I A 英語 I B		英語 II A 英語 II B			英語 III 英語 III B			英語 IV 英語 IV B			英語 V TOEIC L・R・W			グローバルスタディーズ		オーラルイングリッシュ		異文化理解	
	グローバルスタディーズ入門						海外研修 I			海外研修 II			海外研修 III			専攻科海外研修				
自然科学系	数学 I A 数学 I B		数学 II A 数学 II B			数学 III A 数学 III B			応用数学 I 応用数学 II			線形代数 微分・積分			解析力学		地質物理学			
情報工学基礎	サイエンス I		サイエンス II A サイエンス II B			サイエンス III A サイエンス III B			応用物理学 I 応用物理学 II			科学技術の基礎 生物物理学			環境科学		ナノマテリアルデザイン入門		地球物理学	
	電気回路 I		電気回路 II			電気回路 III			電気回路 IV			電気電子情報 I・II			システム制御工学		メカトロニクス			
計算機システム			マイクログコンピュータ			コンピュータ回路			計算機アーキテクチャ			データベースシステム			コンピュータ		ソフトウェア工学		情報ネットワーク	
情報処理	コンピュータリテラシー		コンピュータリテラシー			コンピュータリテラシー			コンピュータリテラシー			コンピュータリテラシー			コンピュータリテラシー		コンピュータリテラシー		コンピュータリテラシー	
電気電子・通信・システム	データサイエンス入門		データサイエンス演習			データサイエンス II			データサイエンス III			データサイエンス IV			データサイエンス V		データサイエンス VI		データサイエンス VII	
実験・実習系	電気情報工学実験基礎		電気情報工学実験 I			電気情報工学実験 II			電気情報工学実験 III			電気情報工学実験 IV			電気情報工学実験 V		電気情報工学実験 VI		電気情報工学実験 VII	
演習系	アカデミック・リサーチ		アカデミック・リサーチ			アカデミック・リサーチ			アカデミック・リサーチ			アカデミック・リサーチ			アカデミック・リサーチ		アカデミック・リサーチ		アカデミック・リサーチ	
工学基礎・周辺技術系	電気情報工学実習		電気情報工学実習			電気情報工学実習			電気情報工学実習			電気情報工学実習			電気情報工学実習		電気情報工学実習		電気情報工学実習	
実践系	電気情報工学実習		電気情報工学実習			電気情報工学実習			電気情報工学実習			電気情報工学実習			電気情報工学実習		電気情報工学実習		電気情報工学実習	

一級科目 必修  
二級科目 選択  
三級科目 必修  
四級科目 選択

資料 8-1-①-6

「専門細目分野別系統図（都市システム工学科）」

	進学士課程										専攻科課程			
	1		2		3		4		5		1		2	
	F	S	F	S	F	S	F	S	F	S	F	S	F	S
人文社会科学系・芸術系	国語 I		II		III		IV		国語表現法		国語表現法			
外国語理解	英語 I A		II A		III A		IV A		V		英文化理解			
	英語 I B		II B		III B		IV B		TOEIC® I・II		グローバルスタディーズ			
自然科学系	数学 I A		II A		III A		IV A		数学概論		解析力学			
	サイエンス I		II A		III A		IV A		物理学概論		地球物理 環境科学			
構造・材料系	建築材料 I		II		III		IV		コンクリート構造学		工業材料			
	構造力学 I		II		III		IV		構造設計学		構造システム I			
水工・環境系	水理学 I		II		III		IV		水工水理学		水工システム I			
	環境生態学		III		IV		V		衛生工学		人間環境構成論			
土壌工系	地盤工学 I		II		III		IV		建設法規		地盤工学特論			
	社会基盤マニピュレーション		III		IV		V		社会基盤メンテナンス工学		建設マニピュレーション			
計画・交通系	測量学 I		II		III		IV		測量学 IV		交通計画			
	計画学 I		II		III		IV		交通工学		計画システム			
都市景観系	都市計画		III		IV		V		都市計画		都市景観計画			
	都市景観計画		III		IV		V		都市景観計画		都市景観計画			
実務系	測量実習		III		IV		V		測量実習		測量実習			
	測量実習		III		IV		V		測量実習		測量実習			
工学技術系	データサイエンス入門		III		IV		V		データサイエンス入門		データサイエンス入門			
	データサイエンス入門		III		IV		V		データサイエンス入門		データサイエンス入門			
実務系	都市システムインターンシップ		III		IV		V		都市システムインターンシップ		都市システムインターンシップ			
	都市システムインターンシップ		III		IV		V		都市システムインターンシップ		都市システムインターンシップ			

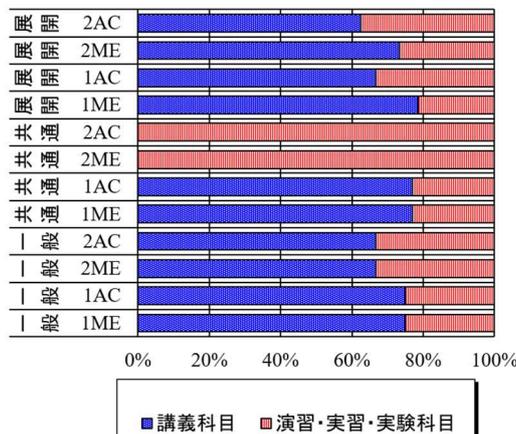
資料 8-1-①-7

「専門細目分野別系統図（建築学科）」

	進学士課程										専攻科課程			
	1		2		3		4		5		1		2	
	F	S	F	S	F	S	F	S	F	S	F	S	F	S
人文社会科学系・芸術系	国語 I		II		III		IV		国語表現法		国語表現法			
外国語理解	英語 I A		II A		III A		IV A		V		英文化理解			
	英語 I B		II B		III B		IV B		TOEIC® I・II		グローバルスタディーズ			
自然科学系	数学 I A		II A		III A		IV A		数学概論		解析学特論			
	サイエンス I		II A		III A		IV A		物理学概論		地球物理 環境科学			
建築構造学	建築構造力学 I		II A		III A		III B		建築構造力学		構造力学特論			
	建築構造力学 I		II A		III A		III B		建築構造力学		構造力学特論			
建築一般構造	建築一般構造		III		IV		V		建築一般構造		建築一般構造			
	建築一般構造		III		IV		V		建築一般構造		建築一般構造			
環境工学	環境工学		III		IV		V		環境工学		環境工学			
	環境工学		III		IV		V		環境工学		環境工学			
都市計画学	都市計画		III		IV		V		都市計画		都市計画			
	都市計画		III		IV		V		都市計画		都市計画			
建築設計系	建築設計		III		IV		V		建築設計		建築設計			
	建築設計		III		IV		V		建築設計		建築設計			
実務系	測量実習		III		IV		V		測量実習		測量実習			
	測量実習		III		IV		V		測量実習		測量実習			
工学技術系	データサイエンス入門		III		IV		V		データサイエンス入門		データサイエンス入門			
	データサイエンス入門		III		IV		V		データサイエンス入門		データサイエンス入門			
実務系	都市システムインターンシップ		III		IV		V		都市システムインターンシップ		都市システムインターンシップ			
	都市システムインターンシップ		III		IV		V		都市システムインターンシップ		都市システムインターンシップ			

資料 8-1-③-1

授業形態の開講状況



(出典:令和3年度シラバスから作成)

資料 8 - 1 - ④ - 1

**11. 専攻科に関する特別の事項**

**(1) 専攻科の修了要件**  
専攻科の修了要件は学期で決められています。本校HPの学生生活のてびきより、規則(1) 学則第53条を参照してください。

**(2) 工学基礎研究**  
工学基礎研究は、学科における卒業研究を基礎として、更にレベルの高い研究を行い、専攻科特別研究の土台となる素養を身に付けるため第1学年に開設された必修科目であり、次のことが義務付けられています。

(1) 学生各自が選択した指導教員の下で研究を継続し、その研究活動の記録を月ごとに報告する。  
この「工学基礎研究の記録」は指導教員の確認を受け、学生課に提出する。

(2) 研究成果を課題レポートとしてまとめ、決められた日時までに指導教員に提出する。

(3) 工学基礎研究発表会で発表し、審査を受ける。

工学基礎研究の評価は、以下の要領で行います。

1. 工学基礎研究の評価は、課題レポートを提出し、かつ工学基礎研究発表会において発表した者について、次の3項目により100点法で行う。  
工学基礎研究に合格するためには、各項目について60%以上を取得しなければならない。

(1) 課題レポートの評価(40点)  
(2) 自主的・継続的学習能力の達成度の評価(30点)  
(3) 工学基礎研究発表会でのプレゼンテーションの評価(30点)

2. 課題レポートの評価は、以下の項目などについて指導教員が40点満点で行う。

① 研究の理解度  
② 研究の達成度  
③ 創意工夫  
④ 文章表現方法や図や式のとまめ具合

3. 自主的・継続的学習能力の達成度の評価は、以下の項目について指導教員が30点満点で行う。

① 「工学基礎研究の記録」の記載状況  
② 研究への取組状況

4. 工学基礎研究発表会は専攻科に行い、各専攻の出席教員全員が以下の項目について10点満点(合計50点満点)で評価する。1.(3)の評価点は、これらを平均して30点満点(小数第1位を四捨五入)で表す。

① 発表態度(発表の話し振り・声の大きさ・服装・礼儀など)  
② プレゼンテーション資料の表現  
③ 発表時間  
④ 発表内容の整合性  
⑤ 質疑応答の的確さ

**(3) 専攻科特別研究**  
専攻科特別研究は専攻科の授業科目の中で最も単位数が多い必修科目であり、次のことが義務付けられています。

(1) 学生各自が選択した指導教員の下で研究を継続し、その研究活動の記録を月ごとに報告する。  
この「専攻科特別研究の記録」は指導教員の確認を受け、学生課に提出する。

(2) 研究成果を研究論文としてまとめ、決められた日時までに学生課に1部提出する。特別研究として設計作品を製作する者は、設計作品1部とその解説1部を提出する。

(3) 特別研究の研究成果を研究年報に投稿する。研究年報の原稿は決められた日時までに学生課に1部提出する。研究年報に関する申し合わせ、投稿の手引き、様式などは専攻科履修の手引きを参照してください。

(4) 審査発表会で発表し、審査を受ける。審査発表会は専攻科に開催し、1研究につき発表時間10分、質疑時間10分を原則とする。

専攻科特別研究の評価は、以下の要領で行います。

1. 専攻科特別研究の評価は、研究論文あるいは設計作品とその解説を提出し、その成果を研究年報に投稿し、かつ専攻科特別研究審査発表会において発表した者について、次の4項目により100点法で行う。  
専攻科特別研究に合格するためには、各項目について60%以上を取得しなければならない。

(1) 研究論文あるいは設計作品とその解説の評価(40点)  
(2) 自主的・継続的学習能力の達成度の評価(20点)  
(3) 研究年報への投稿論文の評価(20点)  
(4) 審査発表会でのプレゼンテーションの評価(20点)

2. 研究論文あるいは設計作品とその解説の評価は、以下の項目などについて主査と副査が40点満点で行う。副査は専攻科委員会が決定する。

① 研究論文の構成  
・背景、目的、手段・方法、内容、得られた結果と考察・将来展望の記述  
・学修総まとめ科目履修計画書との整合性  
・文書表現

② 研究の理解度  
・論理展開及び、用いた手法・手段

③ 研究の達成度  
・途中経過及び、結果における考察

④ 創意工夫  
・学修経験及び、批判的・合理的な思考力の活用  
・倫理性の確保

⑤ 学会などへの発表状況

3. 自主的・継続的学習能力の達成度の評価は、以下の項目について主査が20点満点で行う。

① 「専攻科特別研究の記録」の記載状況  
② 研究への取組状況  
・チームワークへの取り組みとリーダーシップの発揮  
・困難を乗り越える努力

4. 研究年報への投稿論文の評価は、投稿論文審査者が以下の項目などについて20点満点で行う。投稿論文審査者は主査・副査以外の教員の中から専攻科委員会が決定する。

① 論文の整合性(目的から結論への流れ)  
② 文章表現方法  
③ 図や式のとまめ具合  
④ 英文アブストラクト

5. 専攻科特別研究審査発表会は専攻科に行い、各専攻の出席教員全員が以下の項目について10

点満点(合計50点満点)で評価する。1.(4)の評価点は、これらを平均して20点満点(小数第1位を四捨五入)で表す。

① 発表態度(発表の話し振り・声の大きさ・服装・礼儀など)  
② プレゼンテーション資料の表現  
③ 発表時間  
④ 発表内容の整合性  
⑤ 質疑応答の的確さとコミュニケーション能力の発揮

**(4) 専攻科インターンシップ**  
専攻科インターンシップは第1学年の夏休業中に学外の企業などで実働日10日以上実習します。専攻科インターンシップの実施要項は専攻科履修の手引きを参照してください。

**(5) 専攻科海外研修**  
専攻科海外研修は、第1学年の夏休業中に学外の機関で行う10日以上の語学研修などを対象とします。また、参加する研修が単位認定の対象となるかどうかは専攻科委員会にて判断しますので、専攻主任に相談してください。

**(6) 他の専攻で開講している科目の修得**  
自分の所属する専攻以外の専攻の専門履修科目を履修・修得し、専攻科修了要件に算入できます。自分の専門分野にこだわらず、専攻を超えた学習を積極的に計画してください。

**(7) 他の教育機関で修得した単位**  
本校以外の教育機関で修得した単位を最大60単位まで認定し、修了要件に加えることができます。放送大学の科目履修、神戸大学工学部・理学部・海洋政策科学部の科目履修については以下に示します。

専攻科の修得単位認定のため、各大学への履修申請書類とは別に、各学期ごとに「他大学授業科目履修願」を学生課へ提出してください。本校の授業科目と内容が重複する科目については、履修しても本校の単位と認定されない場合があります。

また、修得した単位の専攻科における単位認定を希望する場合は「他大学等における学修単位申請書」に「学習記録」を添えて、学生課へ提出してください。

**①放送大学の科目履修**

1. 放送大学の連携協力校である本校において、放送大学開設科目を受講(DVD等による)し、放送大学単位認定試験に合格すれば、その単位を修得できるようになっています。授業科目のうちから、専門科目に属することなく一般教養科目も履修してください。

2. 放送大学での単位修得のために、放送大学特別聴講学生の出願が必要です。

(1) 放送大学は、2学期制です(第1学期 4月～9月、第2学期 10月～翌年3月)。  
各学期は15週15回で、1回につき45分の授業で構成されたDVD、インターネットで受講します。また、印刷教材(テキスト)も配布されます。

(2) 学期の途中に一回レポート(通信指導問題)の提出が課せられます。授業は15回で終了です。なお、レポートを提出し、合格しないと学期末の単位認定試験は受けられません。

(3) 単位認定試験で不合格になっても再試験の機会があります。ただし、2度不合格になると、改めて科目履修をしなければなりません。

3. 放送大学開設科目の受講には、次の経費が必要です。

(1) 入学料は不要ですが、授業料は1単位ごとに必要です。  
(2) 再試験は次学期に限り受験が可能であり、授業料は不要です。なお、再試験が不合格の場合は、再履修として授業料が必要になります。

4. 他大学において修得した単位数と合わせて60単位を超えない範囲で、本校専攻科における履修科目とみなし、その単位を認定します。

**②神戸大学工学部・理学部・海洋政策科学部の科目履修**

1. 神戸大学工学部・理学部・海洋政策科学部の科目を履修できます。

2. 神戸大学の科目履修を希望する学生は、指導教員の承認印を得た上、「他大学授業科目履修願」を学生課へ提出してください。

3. 受講許可の連絡があれば、「特別聴講学生入学期書」を学生課へ提出してください。

4. 授業時間数と単位数は、本校の規定により、原則として神戸大学と同じ単位数となります。

なお、神戸大学工学部・理学部・海洋政策科学部で履修できる単位数は、1学期各10単位以内で、本校以外で修得した単位を認定できるのは、神戸大学、放送大学を含め60単位以内です。

**(8) 成績の順位**  
専攻科修了後の進路によっては、専攻科での学習記録として成績の順位を求められることがあります。専攻科の成績の評価順位は、次のように決定しています。

1. 専攻科で開設している科目の中で、成績判定時期までに履修できる科目数を履修可能科目数とする。

2. 履修可能科目数の50%(小数点以下切捨て)科目数(「N」)で表す。また、成績上位から順に科目を選び、評価対象科目とする。

3. 評価対象科目の成績合計点を「N」で除した値により順位を決定する。

4. 大学院受験等で成績順位が必要な場合は、この評価順位を適用する。

また、授業料免除選考基準では学力を総合評価することが必要です。詳しくは、5.福利厚生支援(4) 授業料免除及び徴収猶予【P28】、本校HPの学生生活のてびきより、規則(12) 授業料免除者等選考基準を参照してください。

資料 8-1-⑤-1

「専攻科履修規程」

<b>(4) 専攻科履修規程</b>						
<b>(目的)</b>						
第 1 条 この規程は、学則第 5 3 条及び第 5 5 条の規定に基づき、専攻科の履修に関する事項を定める。						
<b>(履修方法)</b>						
第 2 条 専攻科に開設されている授業科目の履修にあたっては、所定の期間に履修届を学生課に提出しなければならない。						
<b>(試験等)</b>						
第 3 条 定期試験は年 2 回以上行う。						
2 平素の成績によって評価できる科目については、定期試験を行わないことがある。						
3 病気その他やむを得ないと認められる理由によって、定期試験を受験できなかった者については、追試験を行うことができる。						
4 定期試験又は追試験において、不合格になった者に対して、再試験を行うことができる。						
<b>(評価)</b>						
第 4 条 成績は、各授業科目毎に、試験の成績及び平素の成績を総合して評価する。						
2 学業成績を評語で表す場合の区分は次のとおりとする。						
優	80 点以上					
良	70 点以上	80 点未満				
可	60 点以上	70 点未満				
不可	59 点以下					
<b>(単位の認定)</b>						
第 5 条 前条に定める評価が「可」以上の場合にその授業科目の単位を認定する。						
<b>(進級)</b>						
第 6 条 休学等特別の場合を除き、第 2 学年への進級を認める。						
<b>(再履修)</b>						
第 7 条 定期試験等で不合格となった授業科目のうち、修得する必要がある科目は、原則として次年度に再履修しなければならない。						
2 再履修する場合は第 3 条に規定する手続を行うものとする。						
<b>(他専攻の授業科目の修得)</b>						
第 8 条 教育上支障がないと認められた場合は、他専攻の専門展開科目を履修し、単位を修得することができる。						
2 前項の規程に基づき修得した単位は、学則第 5 4 条において準用する学則第 1 5 条で定める他大学等において修得した単位を含め、60 単位を超えない範囲で、所属する専攻の修得単位とすることができる。						
<b>附 則</b>						
この規程は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。						
<b>(この間の附則省略)</b>						
<b>附 則 (令和 2.4.8)</b>						
この規程は、この規程は、令和 2 年 4 月 8 日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。						

出典「本校公式 Web サイト\_学校生活>学生生活のてびき」

資料 8-1-⑤-2

令和 2 年度 意識調査学年別集計結果

学年	成績評価・単位認定基準認知度の評価段階					評価の平均値
	(5) よく理解している	(4) 大体知っている	(3) 説明を受けたことがある	(2) 見たことがある	(1) 全く知らない	
専攻科 1 年	0	6	1	2	0	3.44
専攻科 2 年	3	2	1	0	0	4.33

( ) 内 評価点

出典「令和 2 年度意識調査結果から作成」

資料8-1-⑥-1

## 「学則」

## 第1条 ～ 第49条 省略

(修業年限及び在学年限)

第50条 専攻科の修業年限は、2年とする。ただし、4年を超えて在学することはできない。

## 第51条 ～ 第52条の3 中略

(修了)

第53条 校長は、専攻科に2年以上在学し、所定の授業科目を履修し、別表第4に定める一般教養科目及び専門科目のそれぞれの必要単位数を修得し、62単位以上を修得した者について、修了を認定し、所定の修了証書を授与する。

2 前項に規定する単位の修得については、別に定める。

以下、省略

出典「明石工業高等専門学校学則 抜粋」

資料8-1-⑥-2

## 「修了認定基準の認知状況」

## 成績評価・単位認定等の基準に関する調査結果

学年別集計結果		
学年	成績評価・単位 認定基準	進級基準
1年	3.8	3.54
2年	3.75	3.51
3年	3.8	3.69
4年	4.07	4.02
5年	4.17	4.1
専攻科1年	3.44	3.44
専攻科2年	4.33	4.33

\* 5段階評価の平均値

\* 認知度の評価段階

- 5 よく理解している
- 4 大体知っている
- 3 説明を受けたことがある
- 2 見たことがある
- 1 全く知らない

出典「令和2年度意識調査結果から作成」

## 資料 8-2-②-1

## 「アクティブラーニングセンター規則」

## (設置)

第 1 条 明石工業高等専門学校（以下「本校」という。）に、内部組織規則第 11 条の規定に基づき、課題解決型の能動的学修方法の開発及び実践のためアクティブラーニングセンター（以下、「センター」という。）を置く。

## (業務)

第 2 条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 教育方法の開発・実践
- (2) 教育資源の開発・共有
- (3) 教育環境の開発・運用
- (4) 教育効果の評価
- (5) 教育活動の点検・改善

## (部門)

第 3 条 センターの業務を円滑に実施するため、次の部門を置く。

- (1) 教育方法・教育資源・教育環境開発部門
  - (2) 教育効果評価部門
  - (3) Faculty Development 部門（以下、「FD部門」という。）
- 2 教育方法・教育資源・教育環境開発部門は、次に掲げる業務を行う。
- (1) 教育方法の開発及び実践に関する事
  - (2) 教育資源の開発及び共有に関する事
  - (3) 教育環境の開発・運用に関する事
- 3 教育効果評価部門は、教育効果の評価に関する業務を行う。
- 4 FD部門は、教育活動の点検・改善に関する次に掲げる業務を行う。
- (1) 授業アンケートに関する事
  - (2) 授業公開に関する事
  - (3) 教育に関する教科間・学科間の連携に関する事
  - (4) 成績資料の点検に関する事
  - (5) シラバスの点検とフィードバックに関する事
  - (6) 学生の目標達成度の点検とフィードバックに関する事
  - (7) その他教育の点検・改善に関する事

## (組織)

第 4 条 センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 部門長
- (3) 部門員 部門ごとに若干人
- (4) その他センターが必要と認める者

## (センター長)

第 5 条 センター長は、本校の教授又は准教授のうちから校長が任命する。

- 2 センター長は、校長の命を受け、センターの管理運営に関する事を掌理する。
- 3 センター長の任期は 1 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

## (部門長)

第 6 条 部門長は、本校の教授、准教授又は講師のうちから校長が任命する。

- 2 部門長は、部門の業務を掌理する。
- 3 部門長の任期は 1 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

## (アクティブラーニングセンター運営委員会)

第 7 条 センターに関する重要事項を審議するため、センター運営委員会（以下、「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

## (アクティブラーニングセンター運営委員会)

第 7 条 センターに関する重要事項を審議するため、センター運営委員会（以下、「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 部門長
- (3) 教務主事団の構成員（センター長を除く。）
- (4) 学生課長
- (5) その他校長が必要と認めた者

3 運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる

4 センター長に事故があるときは、センター長が委員のうちからあらかじめ指名する者が、その職務を代行する。

5 運営委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、開会することができない。

## (事務)

第 8 条 センターの事務は、学生課において処理する。

## (雑則)

第 9 条 この規則に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は別に定める。

## 附 則

資料 8-2-③-1

「専攻科入学者数」

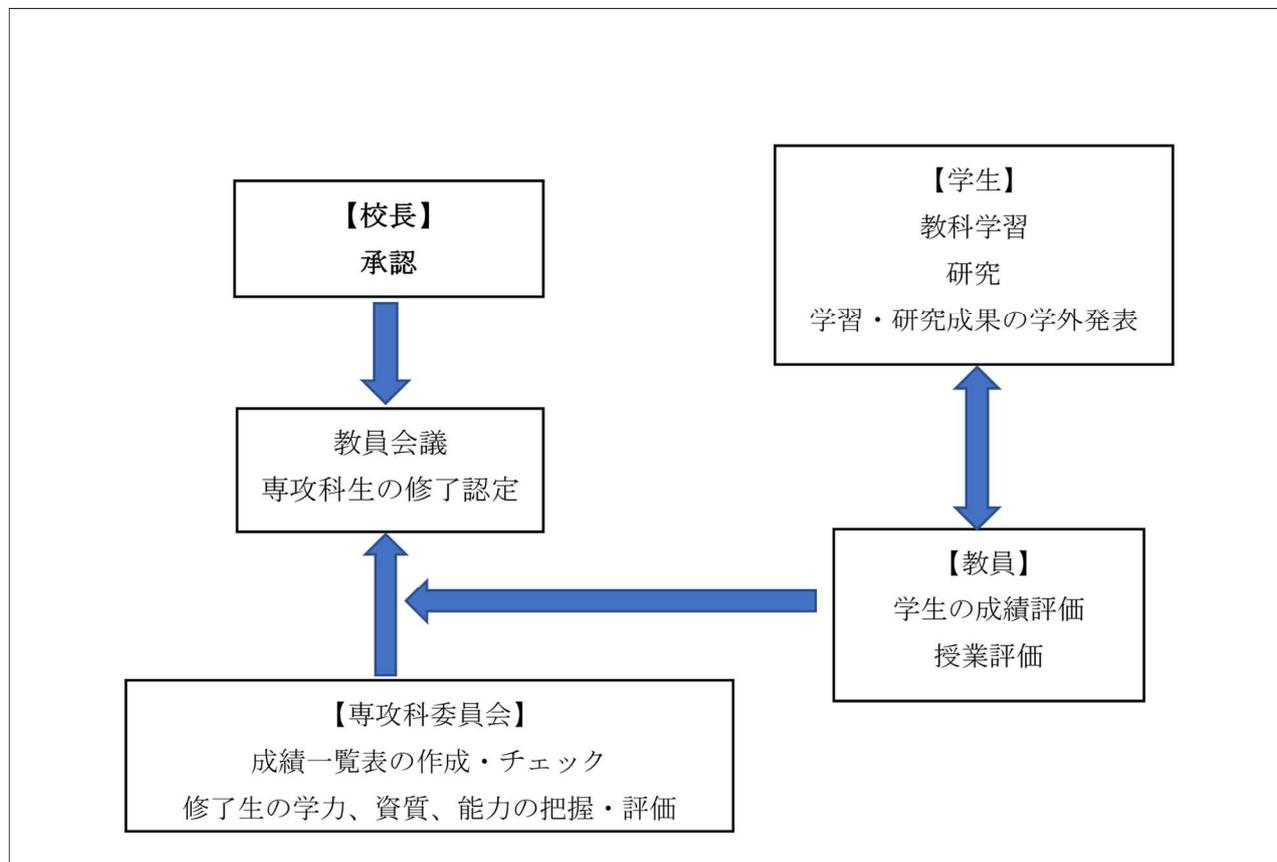
年度	専攻	入学者数	
平成 29 年度	機械・電子システム工学専攻	17	(1)
	建築・都市システム工学専攻	16	(3)
平成 30 年度	機械・電子システム工学専攻	8	(0)
	建築・都市システム工学専攻	11	(3)
平成 31 年度	機械・電子システム工学専攻	13	(1)
	建築・都市システム工学専攻	8	(4)
令和 2 年度	機械・電子システム工学専攻	6	(0)
	建築・都市システム工学専攻	12	(2)
令和 3 年度	機械・電子システム工学専攻	7	(0)
	建築・都市システム工学専攻	11	(4)

( ) 内は女子を内数で表す。

出典「平成 29 年度～令和 3 年度入学者名簿から作成」

資料 8-3-①-1

「成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制」



出典「学則、専攻科委員会規程、学生生活のてびきより作成」

資料8-3-①-2

## 「令和2年度年度第11回教員会議事録」

令和2年度第11回 教員会議事要録				
日 時	令和3年3月3日（水） 9時00分～9時10分			
場 所	階段教室			
出席者	別紙のとおり（56名）			
議 事 要 録				
1. 審議事項				
1. 令和2年度専攻科修了認定について				
学生課長から、成績資料の記載内容及び学則第53条に基づき専攻科の修了に必要な修得単位数等修了要件の説明があり、その結果、以下のとおり20名の専攻科生の修了が承認され、校長が認定した。				
	年度当初 在籍者数	途 中 退学・留級	現 在 在籍者数	修了者数
機械・電子システム工学専攻	13	0	13	13
建築・都市システム工学専攻	7	0	7	7
			合計	20

出典「令和2年度年度第11回教員会議事録 抜粋」

資料 8 - 3 - ① - 3

「成績一覧表の様式」

機械・電子システム工学専攻 成績一覧表

氏名	専攻科	学年	科目	担当	単位	学力平均値	評価順位	評価標準平均	順位(標準平均)	獲得科目平均	専攻科										合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
											1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010	1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017	1018	1019	1020	1021	1022	1023	1024	1025	1026	1027	1028	1029	1030	1031	1032	1033	1034	1035	1036	1037	1038	1039	1040	1041	1042	1043	1044	1045	1046	1047	1048	1049	1050	1051	1052	1053	1054	1055	1056	1057	1058	1059	1060	1061	1062	1063	1064	1065	1066	1067	1068	1069	1070	1071	1072	1073	1074	1075	1076	1077	1078	1079	1080	1081	1082	1083	1084	1085	1086	1087	1088	1089	1090	1091	1092	1093	1094	1095	1096	1097	1098	1099	1100	1101	1102	1103	1104	1105	1106	1107	1108	1109	1110	1111	1112	1113	1114	1115	1116	1117	1118	1119	1120	1121	1122	1123	1124	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1131	1132	1133	1134	1135	1136	1137	1138	1139	1140	1141	1142	1143	1144	1145	1146	1147	1148	1149	1150	1151	1152	1153	1154	1155	1156	1157	1158	1159	1160	1161	1162	1163	1164	1165	1166	1167	1168	1169	1170	1171	1172	1173	1174	1175	1176	1177	1178	1179	1180	1181	1182	1183	1184	1185	1186	1187	1188	1189	1190	1191	1192	1193	1194	1195	1196	1197	1198	1199	1200	1201	1202	1203	1204	1205	1206	1207	1208	1209	1210	1211	1212	1213	1214	1215	1216	1217	1218	1219	1220	1221	1222	1223	1224	1225	1226	1227	1228	1229	1230	1231	1232	1233	1234	1235	1236	1237	1238	1239	1240	1241	1242	1243	1244	1245	1246	1247	1248	1249	1250	1251	1252	1253	1254	1255	1256	1257	1258	1259	1260	1261	1262	1263	1264	1265	1266	1267	1268	1269	1270	1271	1272	1273	1274	1275	1276	1277	1278	1279	1280	1281	1282	1283	1284	1285	1286	1287	1288	1289	1290	1291	1292	1293	1294	1295	1296	1297	1298	1299	1300	1301	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310	1311	1312	1313	1314	1315	1316	1317	1318	1319	1320	1321	1322	1323	1324	1325	1326	1327	1328	1329	1330	1331	1332	1333	1334	1335	1336	1337	1338	1339	1340	1341	1342	1343	1344	1345	1346	1347	1348	1349	1350	1351	1352	1353	1354	1355	1356	1357	1358	1359	1360	1361	1362	1363	1364	1365	1366	1367	1368	1369	1370	1371	1372	1373	1374	1375	1376	1377	1378	1379	1380	1381	1382	1383	1384	1385	1386	1387	1388	1389	1390	1391	1392	1393	1394	1395	1396	1397	1398	1399	1400	1401	1402	1403	1404	1405	1406	1407	1408	1409	1410	1411	1412	1413	1414	1415	1416	1417	1418	1419	1420	1421	1422	1423	1424	1425	1426	1427	1428	1429	1430	1431	1432	1433	1434	1435	1436	1437	1438	1439	1440	1441	1442	1443	1444	1445

資料8-3-①-4

「修業年限修了率」

就学2年間での修了率					
入学年度	入学者数		2年間での修了者数		修了率
	ME専攻	AC専攻	ME専攻	AC専攻	
H27	14	17	14	17	100%
H28	17	15	17	13	94%
H29	17	16	17	16	100%
H30	8	11	8	11	100%
H31(R1)	13	8	13	7	95%
合計	69	67	69	64	98%

出典「入学者名簿(平成27年度～31年度)及び修了者データ(平成28年度～令和2年度)から作成」

資料8-3-①-5

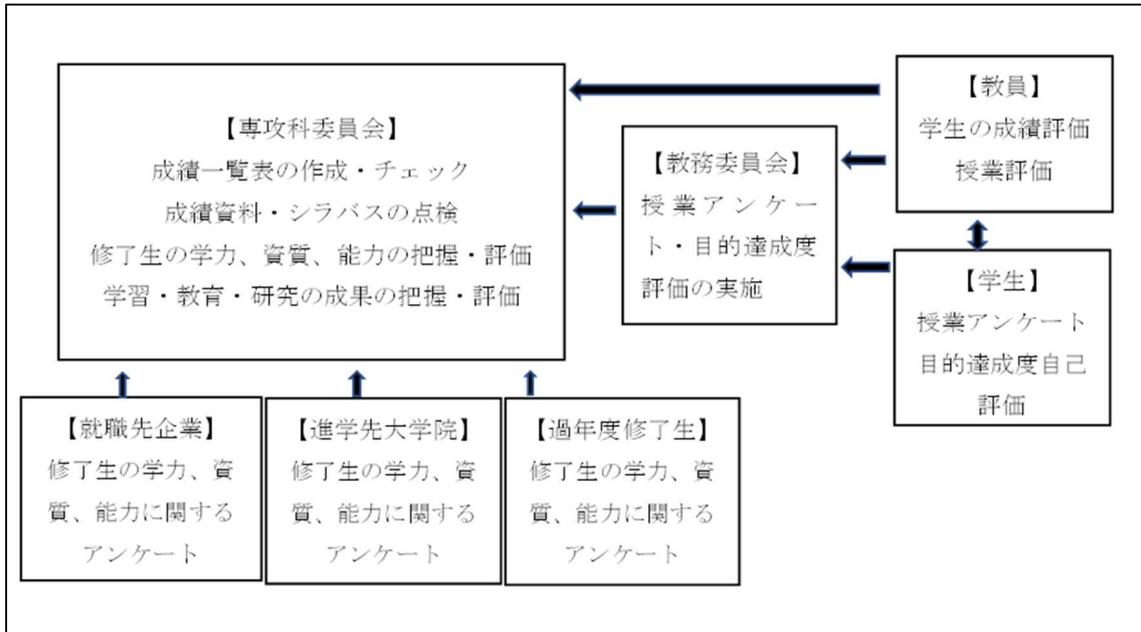
「単位修得率」

単位修得率(各年度2年生の最終成績にて算出)					
年度	履修科目数		修得科目数		修得率
	ME専攻	AC専攻	ME専攻	AC専攻	
H28	407	561	401	548	98.0%
H29	557	382	548	374	98.2%
H30	514	439	511	435	99.3%
H31(R1)	232	306	232	304	99.6%
R2	393	208	390	208	99.5%
合計	2103	1896	2082	1869	98.8%

出典「各専攻成績一覧表(平成28年度～令和2年度)から作成」

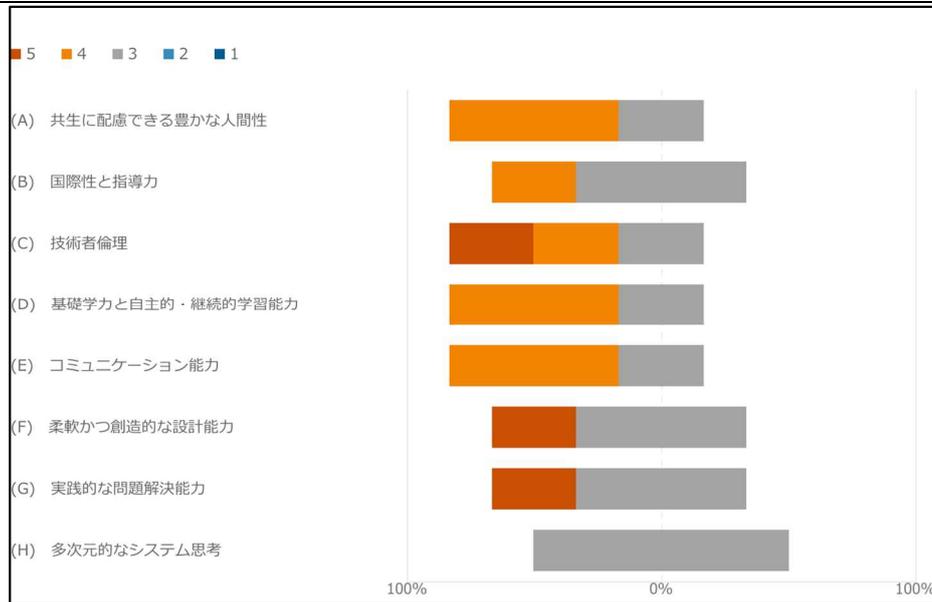
資料8-3-②-1

「学生・修了生・進路先関係者等からの意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制」

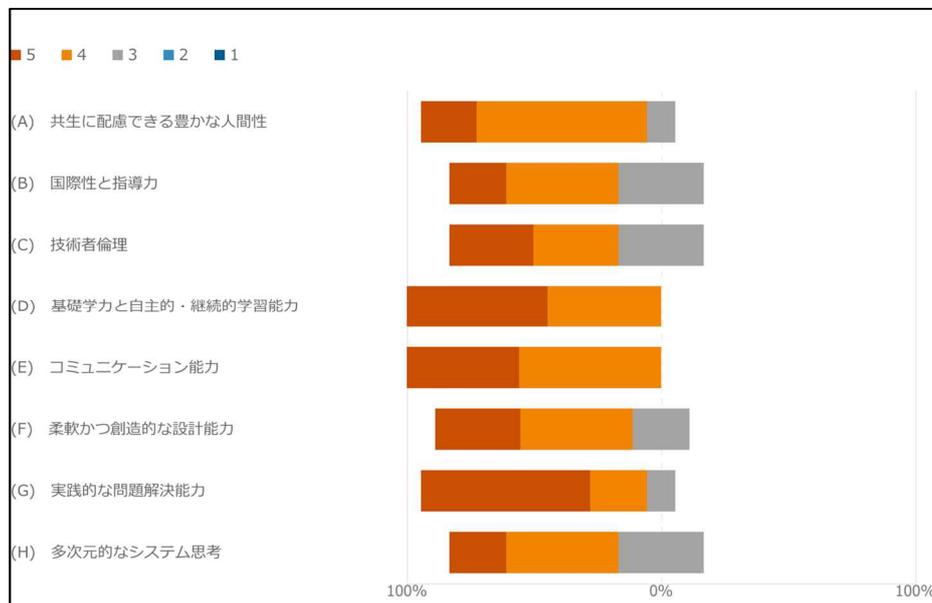


資料 8-3-②-2

「学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力に関する調査結果」



学習・教育到達目標の達成度についてのアンケート結果（修了生）



学習・教育到達目標の達成度についてのアンケート結果（進学先大学院）

就職企業回答なし

出典「令和3年度明石高専の教育目的、ディプロマポリシー及び学習・教育到達目標に関するアンケート結果 抜粋」

資料 8-3-③-1

「専攻科からの進学先・就職先」

進学先一覧

機械・電子システム工学専攻修士の進学先

進学先名	H28	H29	H30	R1	R2
東北大学大学院	1				
筑波大学大学院			1		
東京大学大学院	1			1	2
東京工業大学大学院		2	1		2
名古屋大学大学院					1
京都大学大学院	2		2	1	
京都工芸繊維大学大学院	1				
大阪大学大学院	1	2	1	1	1
神戸大学大学院		1	1		
九州工業大学大学院	1	1			
九州大学大学院		1			
奈良先端科学技術大学院大学		2	1	2	1
京都先端科学大学大学院					1
合計	7	9	7	5	8

建築・都市システム工学専攻修士の進学先

進学先名	H28	H29	H30	R1	R2
北見工業大学大学院	1				
東北大学大学院		1			
千葉大学大学院		1			
東京大学大学院	1		1	1	
東京工業大学大学院			1		
名古屋大学大学院			1		
京都大学大学院	6	3	5	1	1
大阪大学大学院			1	2	
神戸大学大学院		1			
和歌山大学大学院	1				
広島大学大学院			1		
熊本大学大学院		1			
大阪市立大学大学院			1		
多摩美術大学大学院	1				
合計	9	7	11	4	1

就職先一覧

機械・電子システム工学専攻修士の就職先

就職先名	H28	H29	H30	R1	R2
(株)カネカ	1				
(株)サイバーエージェント	1				
(株)タイヘン			1		
(株)ノーリツ		1		1	
(株)日立パワーソリューションズ					1
川崎重工業(株)	1		1		
川重テクノロジ(株)	1				
関西電力(株)			1		
キヤノンメディカルシステムズ(株)		1		1	
サントリープロダクツ(株)			1		
山陽特殊製鋼(株)				1	
シスメックス(株)					1
シャープ(株)			1		
DMG森精機(株)			1		
トーカロ(株)		1			
日揮(株)			1		
日東電工(株)		1			
パナソニック(株)		1	1		
富士電機(株)		1			
三菱電機エンジニアリング(株)		1	1		
三菱電機(株)					1
三菱日立パワーシステムズ(株)		1			
神戸市役所		1			2
合計	4	9	9	3	5

建築・都市システム工学専攻修士の就職先

就職先名	H28	H29	H30	R1	R2
(一財)国土技術研究センター	1				
(株)NTTフィールドテクノ					1
(株)建設技術研究所		1			
(株)ニュージェック	1				
(株)ピーエス三菱	1				
(株)メイホーエンジニアリング		1			
(株)横河ブリッジ					2
亀山建設(株)	1				
国際航業(株)	1				
大成建設(株)		1			
大日本コンサルタント(株)				1	
中央復建コンサルタント(株)			1	1	
西日本高速道路(株)			1		
西日本旅客鉄道(株)			1		
三菱電機(株)	1				
明石市役所				1	
神戸市役所	1			1	
姫路市役所				1	
兵庫県庁		2	1	2	3
宮内庁	1				
国土交通省国土技術政策総合研究所	1				
合計	9	6	4	7	6

出典「明石高専 Web サイト\_専攻科>修了後の進路」

資料8-3-④-1

「学位取得率」

修了年度	修了者数		学位取得者数		修了率
	ME専攻	AC専攻	ME専攻	AC専攻	
H28	13	18	12	18	97%
H29	18	13	18	13	100%
H30	17	16	17	16	100%
R1	8	11	8	11	100%
R2	13	7	13	7	100%
合計	69	65	68	65	99%

出典「修了者データ（平成28年度～令和2年度）から作成」